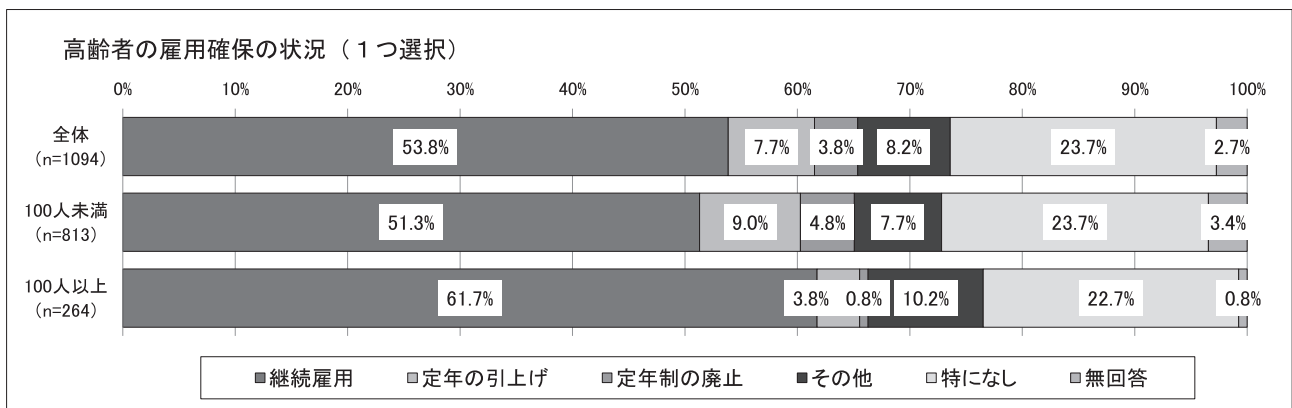


3 高齢者の雇用確保の状況・計画

(1) 現在の雇用確保の状況

現在、高齢者の雇用確保を実施している企業は、「再雇用により65歳以上も引き続き雇用（継続雇用）」（53.8%）が最も多く、それ以外の「定年を65歳以上に引き上げ（定年の引上げ）」（7.7%）、「定年制の廃止」（3.8%）は、いずれも1割に満たない。

従業員規模別で見ると、「継続雇用」を実施している企業は、「100人以上」が多く、「定年の引上げ」や「定年制の廃止」を実施している企業は、「100人未満」が多い。

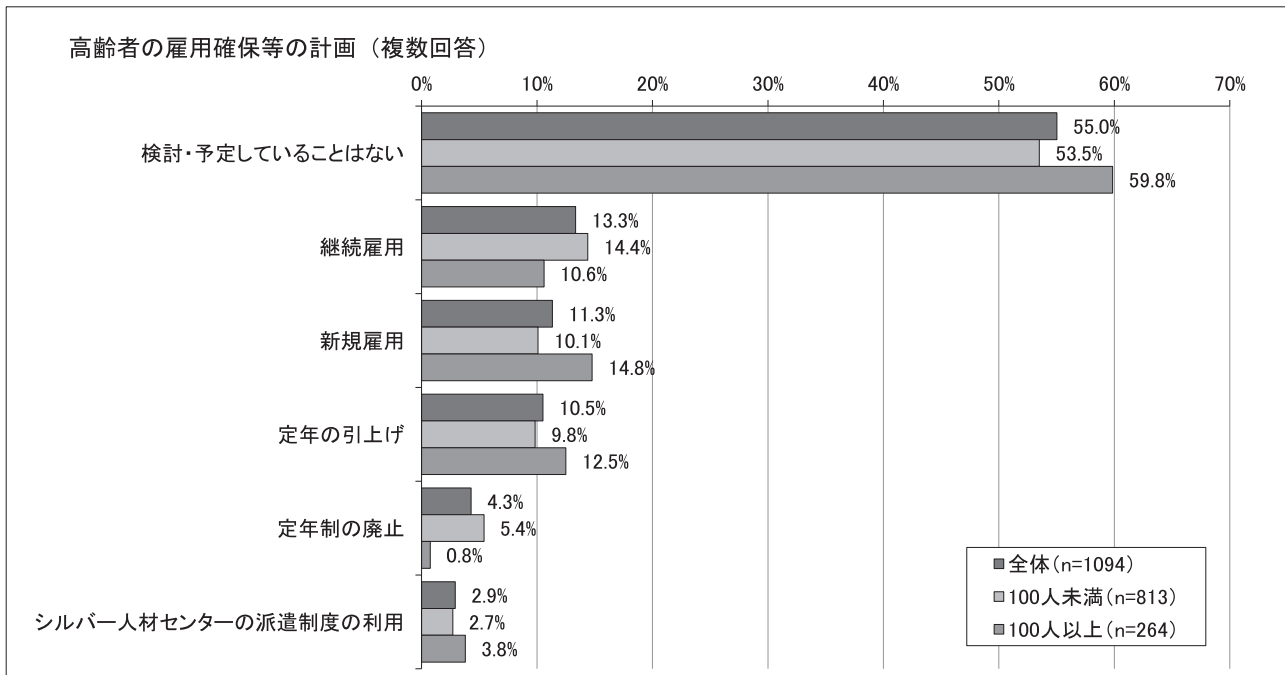


高齢者の雇用確保の状況	高齢者の雇用確保の状況		
	全体 n=1094	100人未満 n=813	100人以上 n=264
再雇用により65歳以上も引き続き雇用している（継続雇用）	53.8%	51.3%	61.7%
定年を65歳以上に引き上げている（定年の引上げ）	7.7%	9.0%	3.8%
定年制を廃止している	3.8%	4.8%	0.8%
その他	8.2%	7.7%	10.2%
特になし	23.7%	23.7%	22.7%
無回答	2.7%	3.4%	0.8%

(2) 今後の雇用確保等の計画

今後の高齢者の雇用確保等の計画は、「検討・予定していることはない」(55.0%)が最も多くなっている。これには、既に何らかの雇用確保を実施しており、これ以上の計画はない、という企業も含まれると考えられる。

このほか、それぞれ1割程度の企業が、「継続雇用」(13.3%)や「定年の引上げ」(10.5%)といった雇用確保措置を検討・導入予定のほか、「新規雇用」(11.3%)を検討・実施予定と回答している。



高齢者の雇用確保等の計画	全体		
	n=1094	100人未満 n=813	100人以上 n=264
検討・予定していることはない	55.0%	53.5%	59.8%
再雇用の上限を65歳以上に引上げ（継続雇用）	13.3%	14.4%	10.6%
新規雇用	11.3%	10.1%	14.8%
定年を65歳以上に引き上げ（定年の引上げ）	10.5%	9.8%	12.5%
定年制の廃止	4.3%	5.4%	0.8%
シルバー人材センターの派遣制度の利用	2.9%	2.7%	3.8%